

SAPIX	5年		
	算数		
学習内容	5月の学習内容 10回『総合』 11回『立体図形(2)』 12回『点の移動』 13回『規則性』		
家庭学習ポイント	<p>第10回は6回から9回までの復習です。第11回では水問題、水の深さの変化を示したグラフの読み取りを学びます。グラフから読み取れる水量や深さの変化では、特にグラフが折れ曲がるところで「何が変化しているのか」を丁寧に考えましょう。立体の水槽のまま考えるのではなく、正面から見た図に整理することも大切です。グラフの意味を読み取ることが、12回「点の移動」と面積の変化などにも繋がります。</p> <p>第12回の点の移動では三角形の底辺比、面積比など等高図形の知識も問われます。過去に学んだ平面図形の知識の確認も、このタイミングで行っておきましょう。速さと平面図形の複合問題の解き方を身につけるコツは、変化そのものを追いかけるのではなく、変化の開始前と変化後に分けて考えることです。グラフであれば変化している点の前後の状態を確認することがポイントです。第13回の規則性では、周期、規則を手を動かして見つけることに集中しましょう。</p> <p>合理的な解法をこの1ヶ月で身につけ、5年生後半、6年生の学習の質を高められるかどうか、今月の学習成果が深く関わっています。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	水量の変化の問題ではグラフのチェックポイントがわかっていますか？	チェック
	解決策	グラフの読み取りの基本は「変化のあった点」に注目することです。理科でも必要な知識です	<input type="checkbox"/>
	チェック2	変化している途中の状態に惑わされていませんか？	チェック
	解決策	変化の「前の状態」と「後の状態」に分けて考えるようにしましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック3	水槽の水入れ問題では、底面積と高さを丁寧に処理できていますか？	チェック
	解決策	水槽の問題は正面から見た図で条件を整理しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック4	点の移動では、図形上のどこを動いているか時間の経過で整理できていますか？	チェック
	解決策	点が移動することで形、面積が変わるなどの変化のタイミングを見逃さないようにしましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック5	規則を見つけるための方法を思い出し、作業を正確に行うことができていますか？	チェック
解決策	差に注目する、周期を見つける、三角数や平方数に注目するなど、作業を身につけましょう	<input type="checkbox"/>	
SAPIX	5年		
	国語		
学習内容	5月の学習内容 10回 コトノハ/孤立 論説文 11回 知の冒険/分解すると見えてくる言葉の性質 物語文 12回 コトノハ/時の流れに身をまかせ 説明文 13回 コトノハ/父の日 物語文		
家庭学習ポイント	<p>第10回のA授業では、物語文を中心に登場人物の心情変化を追います。テーマは「孤立」。子どもたちにとって身近に感じる同じ年代の子どもが主人公の話から始まり、親との死別経験や戦時中の子どもについてなど、より「しっかり読む」ことが必要になる文章へと進んでいきます。第11回「知の冒険」のテーマは「品詞」で、名刺、動詞、連体詞、副詞などを学習します。それぞれの品詞の性質や役割を理解するとともに「少しも～ない」「まるで～ようだ」など副詞の「呼応」をしっかり使いこなせるようにしておくことも大切です。第12回「時の流れに身をまかせ」では「対比」を意識した読解について学びます。対立を軸に構成された論説文の読解や、紛らわしい選択肢の判別など、これまでの読解からワンランク上の問題に取り組んでいきます。宿題で問題を解くことも大切ですが、解説を詳しく読んで「自分の答え、考え方に何が足りなかったのか」を知っておくことも重要です。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	物語文で登場人文つ的心情を「この表現からわかる」と説明できていますか？	チェック
	解決策	人物の描写だけでなく、情景の描写からも心情を読み取る練習をしましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック2	「もし～たら」「まさか～だろう」など、副詞の呼応を正しく答えられますか？	チェック
	解決策	ふだんの会話の中から「決まった言い回し」を意識して使うよう心がけてみよう	<input type="checkbox"/>
	チェック3	論説文や説明文を読んで、対比して扱われている2つのテーマをすぐに答えられますか？	チェック
	解決策	重要と思われることばを見つけたら、すぐにそれと対比することばを探してみよう	<input type="checkbox"/>
	チェック4	文章に「すこぶる」など今ひとつはっきりしない言葉が出てきたら、調べていますか？	チェック
	解決策	上記のようなことばを「放置」せず必ず調べるようにしましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック5	宿題が「解きっぱなし」「丸付けだけ」になっていませんか？	チェック
解決策	必ずテキストの解説を活用し「出題のポイント」を確認するようにしましょう	<input type="checkbox"/>	

SAPIX	5年		
	理科		
学習内容	5月の学習内容 10回『光の進み方』 11回『月①』 12回『月②』 13回『物体の色々な運動』		
家庭学習ポイント	<p>光の進み方は、これまでの体験学習によってはあまり難しく感じないかもしれません。基本的なルールと言葉を丸暗記するだけだと、とてももったいない学習になってしまいます。なぜそうなるんだろう、という疑問に正確に答えるためには、中学、高校の学習が必要になりますが、その一歩手前の学習機会です。最初のインプット機会ルールを正しく覚えましょう。</p> <p>月の学習では、まず様々な月にまつわる数値（自転周期や公転周期、満ち欠けの周期など）を正しく覚えましょう。その上で、自分で図（地球の周りを月が公転する様子を表す模式図）を書き、もしこの場所に人が立っていたとしたら、と考えていくようにしましょう。物体の色々な運動は、目に見えない力を扱う分野ですが「なぜそうなるんだろう？」にまっすぐに答えてくれる分野でもあります。振り子時計やボウリング、自転車、ジェットコースターなど、身近に経験する「運動」との共通点と違いなどを考えながら取り組みましょう。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	光の性質を3つ、正しく答えられますか？	チェック
	解決策	直進、反射、屈折といった性質を理解しているだけで正解できる問題がほとんどです	□
	チェック2	月にまつわる数値を覚えていますか？	チェック
	解決策	地球と太陽との位置関係や距離、大きさ、などをもとに、様々な現象が説明できます	□
	チェック3	つねに丸暗記ではなく、他の知識と関連させて覚えられていますか？	チェック
	解決策	月の動きやこれから学ぶ天体については、位置関係などから現象を理解するようにしましょう	□
	チェック4	物理単元は苦手、なぜそうなるか分からないと避けていませんか？	チェック
	解決策	身近なものの運動と関連させて理解することがポイントです	□
	チェック5	動いている物体の特徴を経験からとらえていますか？	チェック
解決策	落下運動＝坂道を下っているときの自転車、等速直線運動＝ボウリングの球、など	□	
SAPIX	5年		
	社会		
学習内容	5月の学習内容 10回『近畿地方のまとめ』 11回『中部地方のまとめ（1）』 12回『中部地方のまとめ（2）』 13回『中国・四国地方のまとめ（1）』		
家庭学習ポイント	<p>「近畿地方のまとめ」が終わると、「中部地方のまとめ」と「中国・四国地方のまとめ」です。各地方の主要都市、地形、気候、主な産業（農業や工業、それらに関連する知識）、交通など幅広く学習します。いずれの地方に関しても同じですが、決してことばだけで記憶するのではなく、「日本のどの場所のことなのか」を地図帳などで確認しながら記憶していくようにしましょう。自然環境や地形（山・山地・山脈・河川や平野など）を覚える際には、山地などの出っ張りの間（谷）を河川が流れ、それが海に注ぎ込む河口に平野ができるというイメージをしっかりとっておくことが重要です（この意味で立体的な日本地図の活用も有効です）。中部地方は特に入試頻出です。日本アルプスの3つの山脈の間を流れる河川の名前や、愛知県を流れる3大用水路と、それらが水を取り入れている河川の名前をしっかりと記憶しておくようにしましょう。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	各地方の学習をする際、日本地図を確認していますか？	チェック
	解決策	日本地図上で確認し、白地図も併用して書き込み、自分なりにまとめましょう	□
	チェック2	山や山地、山脈、河川や平野をばらばらに覚えていませんか？	チェック
	解決策	山、川、平野は一つのまとまりとして「山→山脈→河川→平野」の順に覚えましょう	□
	チェック3	テキストの表紙と表紙裏を活用していますか？	チェック
	解決策	家庭学習に入る前に、必ず目を通す習慣をつけましょう	□
	チェック4	毎回のテキストをしっかりと読む時間をとっていますか？	チェック
	解決策	宿題演習だけでは社会の力はつきません。授業後、できればその日にざっと読んで復習を	□
	チェック5	デイリーチェックテスト、コアプラス確認テストの直しはしていますか？	チェック
解決策	上記テストに限らずマンスリーなども、直しをしっかりとやることを習慣に	□	